

子ども読書支援センターニュース 第30号

山梨県子ども読書支援センター 2019.3.31

本誌は、県民の皆様へ山梨県子ども読書支援センターのことをより深く知っていただくため、当センターの事業や活動内容について情報発信するものです。



子どもの読書指導者養成講座(第3回、第4回)を開催しました。

子どもの読書指導者養成講座第3回を、平成30年12月12日(水)に開催しました。「ブックトークの愉しみ」と題して、松本市の「ちいさなおうち書店」代表であり、JPIC読書アドバイザーとしてもご活躍中の越高一夫氏にご講義いただきました。前半はブックトークの実演を織り交ぜながら、ブックトークの意義や実践のポイントなどについてご説明いただきました。後半はワークショップとして、事前に作成したシナリオで受講者がブックトークを行いました。受講生からは、「実践的でとても勉強になった。」といった感想が寄せられました。



▲第3回講座の様子

第4回は平成31年1月23日(水)に「びっくり！絵本と紙芝居の力」と題して、絵本・紙芝居作家であり、紙芝居文化推進協議会会長として紙芝居の普及にもご尽力されている、長野ヒデ子氏にご講義いただきました。ご自身の創作にかかわるエピソードをお話いただいたほか、絵本と紙芝居の特性の違いやそれぞれの魅力などを、実演を交えてご説明いただきました。受講者からは、「紙芝居の奥深さと演じ方がわかった。」などの感想が寄せられました。



▲第4回講座の様子

この第4回で今年度の全講座が終了となり、講座の後に閉講式が行われ、全講座に出席した23名の受講者に終了証が授与されました。修了者は子どもの読書指導者として登録され、所属する団体リストを当館のホームページで公開しています。

■URL: https://www.lib.pref.yamanashi.jp/dantai30_2.pdf

平成30年度子ども読書支援センター後期活動報告

・見学対応 保育園児等への読み聞かせ	2団体 52名
小学生への読み聞かせ及び施設見学	7団体309名
中学生の施設見学	2団体 41名
支援学校高等部生徒への読み聞かせ及び施設見学	1団体 10名
・職員が対応しない自由見学	87団体 1,379名(平成30年度)



子どもの読書オープンカレッジ(第4回、第5回)を開催しました。

平成30年12月6日(木)に、「子どもに伝えたい山梨の民話」と題して、山梨むかしがたりの会代表の藤巻愛子氏を講師に迎えて講座を実施しました。図書館司書や小中学校の学校司書など、子どもの読書に関心を持つ65名の参加がありました。

講師は県内外で、昔話を甲州弁で語る、語り部として活躍されています。今回の講座では、山梨県の昔話と伝説について、それぞれの話の特質を説明し、ブックトークと語りの実演を行いました。

参加者からは、「楽しみながら民話や昔話の魅力を知ることができた。」「ブックトークがわかりやすく、参考になった。」などの感想が寄せられました。

平成31年2月7日(木)には、「このよろこびをあのこに～絵本を作り、手渡すこと～」と題して、翻訳家の小宮由氏を講師に迎えて講座を実施しました。図書館司書や学校司書、ボランティアで子どもの読書に関わる方など45名の参加がありました。

講師は子どもの本の翻訳家として活躍しながら、自宅で家庭文庫「このあの文庫」を主宰しています。

子どもと関わる経験から、絵本が子どもたちに与える影響や、翻訳家として絵本作りに携わる理由、読み聞かせのポイントなどをお話いただきました。また、講師の祖父である、トルストイの翻訳家・北御門二郎氏と、児童図書専門店を営む両親から、受け継ぐ思いについてもお話いただきました。参加者からは、「講師の、子どもの本に対する強い思いを感じた。」「今後、子どもに本をすすめる時に思い出す物差しになると思う。」などの感想が寄せられました。



▲講座の様子



▲ブックトークの様子

展示「こどもにすすめたい本2019」を開催します!

山梨県内の図書館員が、昨年1年間に出版された図書の中から「こどもにすすめたい本」110冊を選び、冊子を作成しました。この冊子に掲載された図書を展示します。

展示期間：4月20日(土)～5月16日(木)
展示場所：山梨県立図書館1階児童カウンター前

※冊子は展示場所で配布しています。ぜひ、ご覧ください。

